

大きく育つ きすみののそば

今年もそばの花が満開

実りの秋



今年の米の作況指数は102、たわわに実る稲穂

議員定数を検討

市議会では、議会ホームページの充実、情報の発信、議会中継、各常任委員会研修の取り組みなど、議会の活性化を進めています。活性化のひとつの取り組みとして、議員定数を検討することになりました。現在の議員定数は、20人。小野市条例により定められています。検討した結果は、本年度中にまとめる予定をしています。

第340回
9月定例会

ITめざす e - 議会

9月定例会の一般質問・質疑の全内容は議会のホームページでご覧いただけます。そのほか議会中継ライブラリ、行政視察報告書、市議会だより、小学っ子議会ビデオなどたくさんの議会関連情報を発信しています。いちどアクセスしてください。

主な内容

- ・一般質問..... 2～5ページ
掘井算満・吉田成宏・竹内 修・松本義博・藤本修造・松井精史・鈴木 元の7議員が19項目を質問
- ・議案質疑..... 6ページ
川名善三・春名良兼の2議員が4項目を質疑
- ・各常任委員会の審査..... 7ページ

第340回9月市議会定例会は、8日から29日まで、22日間にわたり開催しました。

提出議案は、専決処分の承認、一般会計補正予算、指定管理者の指定手続き条例の制定、人事案件、意見書案など17議案を原案どおり可決しました。

九月定例会

(一般質問・質疑の抄録は発言した議員が編集しました。全文の内容につきましては、ホームページでご覧いただけます)

一般質問発言者

掘井 算満 議員

- ・特定外来生物への対策について
- ・南環状線の整備計画について

吉田 成宏 議員

- ・小野市南東部丘陵開発事業の進捗状況について
- ・市民参加型ミニ市場公募債について
- ・個人情報取り扱いについて
- ・急増するアスベスト被害について

竹内 修 議員

- ・アスベスト対策について
- ・出産育児一時金について
- ・コミュニティセンターの地域活動における役割について

松本 義博 議員

- ・KDDI跡地利用について
- ・市街地の交通規制について

藤本 修造 議員

- ・「官から民へ」について
- ・小野市の安全の取り組みについて

松井 精史 議員

- ・地球環境について
- ・新たな特産品について
- ・自殺者対策について

鈴垣 元 議員

- ・介護保険について
- ・農業の維持と課題について
- ・国際交流について
- ・水害の教訓のその後について

質疑発言者

川名 善三 議員

- ・議案第56号平成17年度一般会計補正予算について
- ・議案第60号小野市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の制定について

春名 良兼 議員

- ・議案第56号平成17年度一般会計補正予算について
- ・議案第62号小野市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

ご意見をお待ちしています。
議会のメールアドレス：gikai@city.ono.hyogo.jp



特定外来生物への対策について

問 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律が本年6月に施行され、県においても対策のため、仮称「外来生物対策本部」が設置されたが、小野市の生息状況及びその対策についてお伺いします。

答 小野市内での生息状況は、十分把握されていませんが、市猟友会等の捕獲状況は、ヌートリアが平成15年度16頭、16年度4頭、アライグマが17年度2頭となっております。

なお、ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)は、法律の対象物ではありません。昭和46年頃食用として輸入されましたが、食用に向かず、放棄され、水田稲作に被害を及ぼしています。

(地域振興部次長)

新生クラブ

掘井 算満 議員

市内で約14ヘクタールに生息、防除としてはキタジンプ剤、また刈り取り後の耕耘時、石灰窒素の投入が有効と言われており、市民の安全安心のため、更に、その防除対策に万全を期します。

(地域振興部次長)

南環状線の整備計画について

問 この路線は、昭和46年11月末都市計画決定され、その後、小野ニュータウンから東環状線が交差している間は整備されている。未整備である西環状線に至る区間の整備計画についてお伺いします。

答 県都市計画審議会の答申を受け、整備内容の見直し、経済効果、財政状況の見直し等を十分精査検討し整備を進めていきますが、その実施時期については未定であります。

(技監)

小野市南東部丘陵開発 事業の進捗状況について

新生クラブ

吉田 成宏 議員

答 県の小野長寿の郷計画は、魅力に乏しいとして民間事業者の参加意向がなく、現時点では、健康交流ステーション」として、森林療法や伝統医学に基づく健康づくりの検証を行う里山整備を推進する旨提案がありました。地域の活性化を図りたい地元としてはスピード・実現性などに乏しく否定的な見解を伝えており、県に対し思い切った方向転換を含む見直しを要望してまいります。

(総合政策部長)

答 東播磨南北道路については、総延長12・5kmのうち、宗佐第3ランプ間での7・7km区間は、事業に着手してまいります。

以北の4・4kmは、ルート変更による道路構造や工法検討に日数を要し、又、小野長寿の郷計画の進捗に合わせ、国道175号との接続方法も調整してまいります。

なお、これ以上のルート変更はないと考えています。

(技監)

答 新たな工業団地造成計画については、小野工業団地売却後も企業から問い合わせがあり、地域の活性化、雇用の場の確保、市の財政基盤の確立のためにも、新しい工業団地が必要と判断し、地権者の意向把握に努めています。

(助役)

住民参加型 ミニ市場公募債について

答 県下では、兵庫県民債や県と市が共同で発行する「のじぎく債」や市単独では加古川市の「かこがわ未来債」の例があります。

ミニ市場公募債は、資金調達手段の多様化や、市民の行政への参画という点で有効と考えますが、小野市では世代間に公平な負担を求め、こと、長期的に安定した資金計画が立てられること、借り換え時のレートや手数料等のトータルコストや事務効率を勘案し、現行の銀行等からの資金調達が望ましいと考えています。

(助役)

アスベスト対策について

答 吹き付けアスベストの使用が確認された公共施設は、大池スポーツセンター体育室天井と小野東小学校の校長室及び玄関の天井です。どちらも飛散性はきわめて低いというのが市の見解ですが、小野東小学校については安全対策のためすでに飛散防止対策工事を発注しています。

(総務部長)

出産費の軽減における 出産育児一時金の 取り扱いについて

答 小野市国民健康保険では妊娠4ヶ月以上の被保険者を対象に、出産育児一時金(一律30万円)を支給。従来、申請から支給まで日数がかかり退院時に間に合わなかったために、平成18年4月から受領委任払制度(市から直接医療機関に支



公明党

竹内 修 議員

払う制度)を導入、これにより費用の立替・貸付申請が不要となり、退院時の支払いが30万円を超える不足分だけになります。

(市民福祉部長)

コミュニケーションセンターの 地域活動における 事業拡大について

答 コミュニティセンターは、地区ごとに設置しており、市民の講座体験学習の場として、また地域活動の拠点として活性化しています。小野及び小野東両地区では中央公民館を「コミセンおの」と名称変更して活動しています。

小野中学校、小野東小学校の建て替え時期になっていきますが、計画中であり、どのような形になるか決まっています。が地域内にコミュニケーションセンターを盛り込むことも検討したいと思っています。

(教育次長)



市民クラブ

松本 義博 議員

KDDI跡地利用について

問 KDDI用地の買収計画は、交渉に入っているとされていますが、この土地の有効利用構想について、地元とともに夢に向かって邁進する糧にしたいと考えますので、お聞かせください。

答 この土地は100ヘクタールの広さの山林で、市の中心部に近く、緩やかな丘陵地であることから、多様な利用方法が考えられ、将来の小野市の貴重な財産になるものと確信しております。

土地利用構想については、小野東小学校及び凍結している小野中学校改築とあわせて、小中連携を目指した一貫校の構築という夢をも構想に入れた文教ゾーンとして取組みたいと考えております。

また、他のエリアは、陸上競技場、サッカー場などのスポーツゾーン、

また、キャンプ場など野外活動のレクリエーションゾーン、その他里山ゾーンなど、市民に夢を与える施設整備が可能なエリアであると考えております。

今後この計画を実現するには、KDDI側だけでなく、周辺地域のご理解が必要であり、その他にも様々な問題を解決していかなければなりません。いずれにしても前向きに検討してまいりますので、地域の皆様の格段のご協力を賜りたいと考えております。(市長)

市街地の交通規制について

問 旧175号線の市街地に限り「一方通行」を実施してはどうかですか。

答 「一方通行」については、かえって交通の流れを遮断することになり、より大きな交通障害が懸念されるため、警察当局への要望は難しいと考えております。

(市民安全部長)



市民クラブ

藤本 修造 議員

官から民へ

問 「公設公営」から「公設民営」へ、さらに「民設民営」へと移行していくが、地域主導型の取り組みはどうか。

答 安全性、責任、資金等地域の方々と行政が協働して地域の課題に取り組んでいくには、官と民との役割分担が必要。公平、平等を重視し一律的な施策展開を基本とする行政の手の届かない分野や地域の身近な課題など、「民」への期待やニーズがそこにあります。情報の共有と対等の立場で話し合っていくことが基本であると考えます。(総合政策部長)

(総合政策部長)

問 「参画とは役割を持つこと」「協働とは責任を持つこと」そのなかで、官の果たすべき役割は。

答 相互の存在意識を認識し尊重しあい、相互に持てる資源を出し合い、対等の立場で、共通する社会

目的の実現に向け活動をしていくことです。地域主導型の特徴は、地域の真のニーズに対して、よりフレキシブルな、よりスピーディな対応が可能であり、「地域が地域を変え、地域が地域を守っていく」となります。(総合政策部長)

小野市の安全の取り組み

問 水道施設の緊急遮断弁設置は。

答 緊急遮断弁は、災害時の飲料水確保のための設備であり、市ではすでに飲料水確保対策はできているが、本年度実施予定の小野市水道事業基本計画策定の中で、さらに研究いたします。(水道部長)

問 台風災害の対応について。

答 昨年の台風23号の教訓は、避難勧告や災害情報の迅速な伝達と認識しています。自主防災組織の会長と連絡体制の整備構築、安心安全情報共有システムの情報配信を行います。(市民安全部長)

(市民安全部長)



新生クラブ

松井 精史 議員

地球環境について

問 予算の重点項目に「ガーデニングシティおの」を掲げるとともに景観整備課を発足させ、花と緑のふるさとづくりを進めており、また、ごみの減量化、堆肥化についても取り組みが組んでいます。その現況をお聞きます。

答 「花でおもいやり」と「ガーデニングシティのイメージづくり」を表現しています。この成果は、賞を受賞するまでになりました。

より花に親しんでもらえるように市内5カ所にポケットパークを整備しています。

(地域振興部次長)

答 また、「混ぜればごみ、分ければ資源」の分別収集に取り組み、市民のみなさんとともに減量化を強化し、堆肥化についても農業者のご協力を得て検討してまいります。

(市民安全部長)

新たな特産品について

問 小野市の新しい特産品として、香りと栄養豊富なパッションフルーツ」に注目しています。私も試みに苗を育てたところ百個以上実りました。特産品として、また、栽培農家の組織化についてお伺いします。

答 熱帯地方の果物パッションフルーツの栽培は、市内22の農家が取り組んでおられます。

消費者に受け入れられる付加価値の高い商品を生み出すためにも、まず、小野うまいもんブランド評価委員会」の認証を得ることができれば、組織化に向けて支援をしてみたいと考えます。



たわわに実ったパッションフルーツ

(市長)

介護保険について

問 介護保険法が改定され「介護予防」導入による軽度者のサービス給付が制限される。要介護区分の変更により、新要支援1・2は原則介護サービスを受けられなくなるが市内の該当者数は。

答 要介護区分は、「要支援」と「要介護1から5」まで6段階であったものが、来年4月から「要介護1」認定者のうち、心身の状態が不安定者や認知症等の方を除く約7割が「要支援2」に移行し7段階の区分となり、要支援該当者は460名程度と見込んでいます。従来の家事援助等のサービスを一律にカットするものではありません。

(市民福祉部長)

問 施設利用者の居住費・食費は、10月より全額自己負担となる。利用者の負担額はどう変わるか。また低所得者には負担上限が設けられるが申請をしなければ減額措置を適用されない。どう周知徹底されるのか。

答 基準費用額の例ですと特養ホーム入所者の場合、食費で月額1

日本共産党

鈴垣 元 議員

万8千円程度。居住費では、多床室入所者で9千600円、ユニット型個室入所者で1万9千円程度の負担増が見込まれます。改正内容については、8月に全介護認定者宛てに通知いたしました。施設入所者には事業者からも説明をおこない事業者からの要請があれば市も説明にまいります。

(市民福祉部長)

問 介護予防の目的で地域支援事業が行なわれ、中核機関として「地域包括支援センター」が創設される。センターは、市町村の機能を強化する一環として設置するのが望ましいとされている。姫路市では、市民生活を守る皆」と位置づけ、民間委託ではなく市直営を決めたが小野市はどうか。

答 10月に準備室を立ち上げます。運営協議会において議論されますが、官民の役割分担からみますと市直営が望ましいと考えます。

(市長)

公明党
川名善三議員の質疑

平成17年度
一般会計補正予算について

問 老人福祉費における地域介護・空間整備事業経費1千800万円の具体的内容について。

答 平成18年4月からの介護保険制度の改正を前に、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、また地域の実情に合ったサービスを高齢者の日常生活圏域内で提供できるようにするものです。

このため今後4年以内に市町村が実施する介護・福祉基盤の面的整備に対して1億円を交付上限額とする「地域介護・福祉空間整備等交付金制度」が創設されました。

本市では来年度から開始を予定している新予防給付サービス及び地域支援事業の円滑な実施を図るため、平成17年度に介護予防拠点を市内4カ所を整備することとし、1カ所当たり450万円、計1千800万円の補正をするものです。

(市民福祉部長)

小野市公の施設に係る

指定管理者の指定手続等に関する条例の制定について

問 指定管理者候補者選定の透明性、公平性確保の点から選定委員会等を設置すべきではないか。

答 指定管理者の選定には、その施設のサービスの向上・効用を最大限に発揮するものを選定すべきです。選定方法は公正かつ透明性を確保することが最大の条件であり、法の規定はないが外部委員も含む選定委員会を設置し検討したいと思えます。

(総合政策部長)

問 指定管理者の適正な運営がなされているかのチェックを果たす観点から事業報告書の一般公開すべきでは。

答 指定管理者の事業報告は、管理業務や利用状況などのほか、収支報告について公金とみなし、施設が適正且つ効果的に活用できているかを検証するために、管理運営に対する監査が必要です。監査内容を広く市民に情報公開をすることを考えます。

(総合政策部長)

議案 質疑

日本共産党
春名良兼議員の質疑

平成17年度一般会計補正予算について

問 総務費、一般管理費の需用費及び工事請負費の内容は。

答 需用費は、県により市内4河川（東条川、万勝寺川、山田川、前谷川）の浸水想定区域図が示されました。

これらの4河川に対して、ハザードマップの作成を予定しています。事業費の3分の2が県補助になり、国県管理河川の浸水想定区域、昨年の台風23号被害箇所、市内全域の土砂災害危険箇所、災害時の避難箇所等を含めた総合防災マップの作成を委託します。

既存需用費の200万円を委託料に廻し600万円として補正計上し、業務委託を行うものです。

また工事請負費は、昨年の台風23号による浸水被害の際、広報車、市職員による個別の避難勧告、自主防衛組織会長、区長、地元役員による避難の呼びかけ、消防団のサイレン等による避難連絡をしました。

しかし、被害のあった一部の地域では、情報伝達に時間を要し、住宅の周り

で浸水の被害が発生し始めました。このため、特に被害が大きかった地域にモデル事業として、より良いタイミングで必要な情報が伝達できるサイレンの設置工事を行うために200万円の補正を行うものです。

(市民安全部長)

問 小野中学校校舎改築事業廃止に伴う代替案は考えているか。

答 小野中学校校舎改築工事については、用地買収不調のため7月に事業の凍結をしました。

建替え計画は、7月19日の議員協議会で、「中学校の改築を進めて行くという方針は変わらないが、改築の具体的な計画は今のところ白紙の状態」と説明いたしました。

今後、これからの教育の動き、生徒の人数の動向等あらゆる角度から検討し、幅広く市民の意見を聞き、校舎改築の代替案を検討したいと考えています。

(教育次長)

常任委員会 審査報告

9月定例会は、27日、総務文教、民生保健、地域振興各常任委員会を開催、議案第50号、第56号から第66号の12議案について、市当局から説明を受け、慎重に審査をいたしました。

総務文教常任委員会（吉田成宏委員長）の付託7件のうちで議案第50号衆議院総選挙執行費（専決処分の承認）を審査する過程で、

「投票は国民の権利であり義務である。投票率100%を目標に、学校教育で選挙の重要性を指導するなど、あらゆる観点から投票率アップに向け努力されたい」

第56号小野中学校校舎改築事業の凍結（一般会計補正予算）を審査する過程で、



総務文教常任委員会

「小野中学校・小野東小学校の校舎改築に向けて、児童生徒が快適な環境で勉強に集中できるよう用地取得をはじめ早期に対応策を検討されたい」

「学校改築などの大型プロジェクトの進行にあたっては、年度途中で国庫補助金を辞退することがないよう執行管理などのマニュアルを整備されたい」

議案第60号小野市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例の制定についてを審査する過程で、

「指定管理者の指定手続きについて、市民の代表である議会が関与できるように議会への事業報告書の提出、兼職の禁止などを今後、明文化されるよう検討されたい」との意見がありました。



民生保健常任委員会

民生保健常任委員会（藤本修造委員長）の付託の5件のうちで議案第56号水害対策非常用サイレン整備事業（一般会計補正予算）を審査する過程で、

「水害対策非常用サイレン整備事業は、平成16年に台風23号の被害を受けた粟生地区を対象としているが、市は設置するものの災害時の操作は自治会が行うことになっている。事前の操作方法はもとより、周囲住民への啓発、防災訓練についても指導の徹底を図られたい」

「東条川、万勝寺川、山田川、前谷川周辺のハザードマップ製作を予定しているが、住民に配布するだけでなく、災害発生時に



地域振興常任委員会

はどのように行動するかなどのマップの見方、使い方を周知徹底を図るとともに災害に強い小野市をつくっていただきたい」

議案第57号介護保険特別会計補正予算を審査する過程で

「特定入所者介護サービスは10月から居住費、食事費が原則自己負担となり、市民の間には全額自己負担で経費が高くなるという意識が先行しているが、所得によっては減額対象となる場合もあるため、市民に正確な情報が届くよう啓発に努められたい」との意見がありました。

地域振興常任委員会（鈴垣元委員長）の付託2件の議案は特に指摘事項はありませんでした。この結果、各常任委員会での反対討論はなく議案12件すべてについて全会一致で、本会議で可決すべきであると決定しました。

今期市議会で可決された主な議案

市長提出議案

補正予算

- ・平成17年度一般会計補正予算(第3号)
小野中学校校舎改築事業5億7,004万円減
ハザードマップ作成経費 400万円
水害対策非常用サイレン整備 200万円
- ・平成17年度小野市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ・平成17年度小野市水道事業会計補正予算(第1号)
- ・平成17年度小野市下水道事業会計補正予算(第1号)

条例

- ・小野市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例の制定について
- ・議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

専決処分

- ・平成17年度小野市一般会計補正予算(第2号)
衆議院議員総選挙執行経費 2,650万円

人事案件

- ・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
菅田町475番地 井上 正氏(再任)
- ・小野市教育委員会委員の任命について
中町275番地の1 松原 ひとみ氏(再任)

その他

- ・兵庫県市町村職員退職手当組合理約の変更について
- ・北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合わかあゆ園を組織する地方公共団体の数の減及び規約の一部変更について

意見書

- ・アスベスト対策を求める意見書
- ・リフォーム詐欺から高齢者等を守るための対策強化を求める意見書
- ・自治体病院の医師確保対策を求める意見書

「女性議会」開催

11月22日(火) 13:00

第2回女性議会(模擬議会)が市総合政策部男女共同参画推進グループの主催で開かれます。

市内から女性21名が女性議員・議会運営スタッフとして参加し、市政の運営について、市長はじめ市の幹部に質問をするとともに、議会スタッフの一員として女性議会を運営することになっています。

市行政全般について鋭い質問を投げかけ、市当局に迫る場面が予測できます。

ぜひ、市民のみなさま、おそろいで女性議会議員の応援にお越しくください。

*当日「一時保育(無料)」をご利用いただけます。ご希望の方は、11月15日までに市役所男女共同参画推進グループに電話(63-1000内線785)でお申し込みください。

日時 平成17年11月22日(火)
午後1時から

場所 市議会議場(市役所本庁5階)

12月定例会日程決まる

12月定例会の日程が決まりました。

本会議には、ぜひ、ご来場くださいまして、議会のもようをご覧くださいませようご案内いたします。定例会は、議案審議、議員の質疑、質問、市長の答弁をおこないます。真剣な討論のやりとりを味わってください。

11月30日(水) 本会議第1日

12月13日(火) 本会議第2日

12月14日(水) 本会議第3日

12月16日(金) 常任委員会

12月20日(火) 本会議第4日

gikai@city.ono.hyogo.jp



ホームページ
だより

市議会のホームページでは、議会関係の最新情報を掲載しています。トピックスをあけていただきますと、最新の9月定例会、質疑・一般質問をご覧くださいませ。

ITめざす e - 議会